

1. 件名：「島根原子力発電所 2 号炉の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(152)」

2. 日時：令和 3 年 3 月 22 日（月） 10 時 05 分～ 12 時 05 分

3. 場所：原子力規制庁 9 階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、海田主任安全審査官、谷主任安全審査官、菅谷技術研究調査官、松末技術参与

中国電力株式会社：山田常務執行役員 他 17 名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 島根原子力発電所 2 号炉 新規制基準適合性に係る審査を踏まえた検討・反映事項について
- ・ 島根原子力発電所 地盤（敷地周辺陸域の地質・地質構造）
- ・ 島根原子力発電所 地盤（敷地周辺陸域の地質・地質構造）（補足説明）
- ・ 島根原子力発電所 地盤（敷地の地形，地質・地質構造）
- ・ 島根原子力発電所 地盤（敷地の地形，地質・地質構造）（補足説明）
- ・ 島根原子力発電所 2 号炉 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価
- ・ 島根原子力発電所 2 号炉 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価（補足説明）
- ・ 島根原子力発電所 2 号炉 津波評価について
- ・ 島根原子力発電所 2 号炉 津波評価について（補足説明）

- ・ 島根原子力発電所 火山影響評価について
- ・ 島根原子力発電所 火山影響評価について（補足説明）

<<本年3月18日に受取済み>>

- ・ 島根原子力発電所 基準地震動の策定について
- ・ 島根原子力発電所 基準地震動の策定について（補足説明資料）

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁クマガエです。
0:00:04	これから島根原子力発電所のヒアリングを始めたいと思います。よろしくお願 いします。最初の資料の確認からお願いいたします。
0:00:18	はい、中国電力カシマです。本日準備させていただいた資料について、
0:00:24	御説明させていただきます。まずは全体概要ということで、Pd082 か 1
0:00:30	こちらがA3 の
0:00:32	全体の市の適合性審査を踏まえた検討反映事項についてという資料。
0:00:38	引き続きまして、陸域関係としまして、Pdゼロのゼロ回 03。
0:00:44	こちらがまとめ資料の本資料で、
0:00:47	もう一つがEP070 回
0:00:52	02、こちらが敷地周辺陸域の補足説明資料、
0:00:57	続きまして敷地としまして、
0:00:59	とEP073 回ゼロに
0:01:02	敷地の地形地質地質構造、
0:01:06	0EP0 なのかつこ法解 02。
0:01:10	こちらが敷地関係の補足説明資料、
0:01:14	続きまして基礎地盤及び周辺斜面としましてEP081 回ゼロへよ。
0:01:19	こちらがまとめ資料、
0:01:21	続きとして 081Pd081 を 1 回 02、こちらが補足説明資料になります。
0:01:30	続きまして、津浪につきましては、EP074 回 03。
0:01:37	こちらがまとめ資料、
0:01:39	EP0 なんだよ、この会 02、こちらが津波に関する補足説明資料、
0:01:48	と火山につきましては、EP079 回ゼロに
0:01:52	こちらのまとめ資料火山のまとめ資料で補足説明資料がPd0798 候補会 02 と なります。
0:02:01	ご確認をお願いいたします。
0:02:05	はい、資料確認できましたらお願いいたします。
0:02:14	すみませんそれ明日もう 1 点、もう一つ、地震動関係の資料もございます。こ ちらの
0:02:20	こちらについてまず御説明させていただきます資料番号とあわせて御説明さ せていただきます。
0:02:27	中国電力の井上です。
0:02:29	それでは、基準地震動の策定について御説明いたします。

0:02:33	資料ですけれども、前回の3月18日付の資料になりまして、資料番号EPかっこいい071回で論議をこちらが、本資料、それから補足説明資料、
0:02:50	としてEPかっこいい071(5)の会議で論議
0:02:55	補足説明資料、
0:02:57	それから参考資料につきましてはこちらへと2月17日付の資料になりますけれども、EPかっこいい076こちら参考資料になります。
0:03:07	資料、以上3点になりますけれども、よろしいでしょうかはい規制庁クマガエです。よろしくをお願いします。
0:03:16	はい、ありがとうございます。
0:03:18	それでは、基準地震動の策定について、本資料に基づきまして御説明いたします。
0:03:26	また、本資料ですけれども、まず前回御説明したのが2月17日ということで、そちらからの変更点について御説明したいと思います。0変更点は赤字でお示ししております。
0:03:40	1ページをお願いいたします。
0:03:43	1ページ目に基準地震動の策定の概要をお示ししております。
0:03:49	引抜きの申請時からの変更点について記載をしております、
0:03:54	これまでの審査会合での検討、それから先行プラントの審査を踏まえて、地下構造モデル地震発生層を地震動評価における不確かさケースまた震源を特定せず策定する地震動等を変更しまして、
0:04:09	下の事務図に示します通り、議員基準地震動を変更しております。
0:04:15	数字で最も大きい地震動の最大加速度の辺り書いておまして、一番大きい $S_s-1$ 、600Galだったのが $S_s-D$ の820ガルに変更になったということをお示ししております。
0:04:30	続いて2ページをお願いいたします。
0:04:34	2ページ目以降ですけれども、2ページから10ページまで新生児からの主な変更内容について記載しております。
0:04:43	まず2ページから4ページ目までが表の形で記載をしております、左側に新生児の評価、右側に最終評価を書いてまして真ん中に
0:04:55	審査でどのような議論があったかということがきちんとわかるように、内容を記載をしております。
0:05:01	左側と右側については、前回2月17日のヒアリング資料においても同様の内容を記載をしております、基本的には変更はしておりません。今回前真ん中をの欄を追記したというものでございます。

0:05:18	審査会合での御指摘を踏まえまして、こういった検討をしたですとか、先行プランの審査を踏まえて、こういった検討を追加したとかそういったことを詳細に記載をしております。
0:05:30	5 ページ目をお願いいたします。5 ページ目以降に、その内容について結果を図でお示ししております。
0:05:42	5 ページですけれども、上からまずこちら応答スペクトルに基づく地震動評価の結果をお示ししております。
0:05:50	上から地下構造モデルの変更、断層長さの変更、地震発生層の変更、それから不確かさの変更を踏まえまして、こちら図に示します通りで応答スペクトルを記載しておりますけれども、結果が新生児から最終評価に
0:06:08	変更になったということをお示ししております。
0:06:11	続いて 6 ページをお願いいたします。
0:06:15	6 ページ目が書いてる内容同じですけれども、断層モデルを用いた手法による地震動評価のうち、宍道断層による地震の地震動評価結果を記載しております。
0:06:26	それから 7 ページ目、こちらも地震動評価結果 AF 海域の 3 連動 F3、F4F5 断層による地震の地震動評価結果の申請時からの評価から最終評価の変更について記載をしております。
0:06:41	浮いて 8 ページをお願いいたします。
0:06:45	8 ページですけれどもこちらは震源を特定せず策定する地震動の評価結果になります。
0:06:52	変更点といたしましては、緑色の、まず留萌の地震、緑色で書いておりますけれども、保守性を考慮して変更したということで、左側 585Gal の地震動ですけれども、右側保守性を考慮して 620Gal の地震分に変更したというもの。それから
0:07:10	青色の鳥取県西武 2000 年鳥取県西武自身のお観測記録、こちらを追加しております。
0:07:19	9 ページをお願いいたします。
0:07:21	9 ページ目ですけれども、こちらは先ほど冒頭にお示したものと同一内容のものになっております基準地震動の変更について記載をしております。
0:07:32	10 ページをお願いいたします。
0:07:34	10 ページですけれどもこちらは基準地震動の最大加速度の一覧、水平方向と鉛直方向すべて記載をしております。
0:07:43	以上が申請時からの主な変更内容になります。
0:07:47	続きまして 24 ページをお願いいたします。

0:07:57	24 ページですが、こちらは敷地周辺陸域の地質地質構造の説明になります が、一番下の四角のところ、
0:08:07	引き継ぎにおいて推定される上層理想の下面は標高マイナス 1000 メーター 以深と考えられると。
0:08:13	ということにつきまして、前回のヒアリングにおいて、日基地内のデータからも言 えないかということで、ちょっと大深度ボーリングのデータなんかも確認をした んですけれども、基本的には 1000 メーター以上の深くまで掘ったボーリングに ついては、
0:08:30	基本的に地下構造モデルの作成をするということを目的として実施したものに なりますので、PS検層なんかを実施はしているんですけれども、ここは秘匿す るということを目的としてやったものではありませんので、従いまして上層地層 の丘面というものは、
0:08:48	1 のデータからは、ちょっとこちらの 1000 メーター以深かどうかというところ については、低いということになりまして、このページについては修正はしてご ざいませぬ。先ほど申しましたように、とPS検層なんかをきちんと深いボーリ ングでもやっております、
0:09:04	参考にと 73 ページをお願いいたします。
0:09:17	73 ページですけれどもこちら地下構造モデルを設定する際のそれぞれの根拠 を示しております、左から 2 番目、大深度ボーリングのオレンジ色のところ ですけれども、こちら、S波速度P波速度密度というものを地下構造モデルに反 映していると。
0:09:34	ということで、この大深度ボーリングのをまずS波速度とPSR速度はPS検層大 深度のPS検層に基づくもので密度につきましては、
0:09:44	密度検層に基づくものということで、その辺りのデータは適切に地下構造モデ ルに反映しているということは、こちらでお示ししております。
0:09:54	戻っていただきまして 25 ページをお願いいたします。
0:10:05	25 ページですけれどもこちら 1 号エリアと 212 号エリアと 3 号エリアについて 記載した図になりますけれども、
0:10:14	今回 12 号エリアの範囲を前回の資料から変更をしております。
0:10:19	こちら高台にあるSA施設東側に緊急時対策所、それから南側にガスタービン 発電機建物がございませぬけれども、それらが 2 号地盤位置にも基盤に含まれ ることがわかるように修正をしております。
0:10:36	その根拠といたしまして、27 ページをお願いいたします。
0:10:44	27 ページ、こちら、2 号地盤の速度層断面の南北断面を期待しておりますけ れども、

0:10:51	ちょっとガスタービン発電機建物がどこにあるかというところでちょっと段目にはですねガスタービン発電機建物入っておりませんので、どの位置にあるのかというところを補足説明のほうで記載をしております。
0:11:08	補足説明の補足説明資料の
0:11:11	5 ページ目をお願いいたします。
0:11:25	補足説明、補足説明資料の 5 ページですけれども、こちら 2 号周りの南北断面とそれからガスタービン発電機建物周りの南北断面つなげたような図を示しております。
0:11:38	右側に平面図でございますけれども、またA断面というのが 2 号の南側ですね、2 号原子炉建物の南北断面、
0:11:48	それからB断面というのが、ガスタービン発電機建物を切ったような断面になっておりまして、
0:11:55	この図からですね 2 号の断面と同様と速度構造がガスタービン発電機建物が位置するところまで、
0:12:05	連続しているということがわかると思います。
0:12:09	横から出すタービン発電機建物の位置についても同じ地盤モデルで評価して問題ないだろうと。
0:12:16	と判断をしております。
0:12:20	続きまして、本資料に戻っていただきまして 28 ページをお願いいたします。
0:12:31	本資料の 28 ページ、こちらは 2 号地盤の速度層断面、第方向の断面になりますけれども、この断面の中に緊急時対策所が入っているかどうかというところをですけれども、一番この断面の右側の端っこのところになりますけれども、東側になりますが、
0:12:51	緊急時対策所をにつきましてはこの 2 号地盤モデルの中に入っていると。
0:12:58	言ったところで、また東西方向については水平成層構造ということですので、こちらについても同じ地盤モデルで評価して問題ないというふうに考えております。
0:13:12	続きまして 31 ページをお願いいたします。
0:13:19	31 ページ、こちらは地質地質構造の調査のまとめというところですが、赤字のところを追記しております。
0:13:27	こちらにつきましては、えっと次のページで解放基盤表面の設定について説明しているんですけれども、ちょっとそこの繋がりがわかりにくいと。
0:13:36	いうことでしたので、こちら赤字のところ、敷地全体では大局的に見てほぼ水平成層と
0:13:43	なお、

0:13:44	ほぼ水平な構造であるという所迷う追記して次のページとの整合性、
0:13:51	きちんと繋がりがわかるように記載をしております。
0:13:55	ここに関して、27 ページも、ちょっと戻っていただけますでしょうか。
0:14:04	27 ページ、最後文書の催告国庫目で退避しておりましてそれを左下に内容器補足で書いておりますけれども、
0:14:13	こちら南北の断面については、北に緩やかに傾斜をしているということでございますけれども、後述の傾斜構造を考慮した解析、こちらの二次元地下構造モデルを用いた解析になりますけれども、その解析によって、
0:14:29	傾斜構造が敷地を地震動評価に与える影響はほとんどないことを確認しているということを記載しまして、全体的に見れば、
0:14:39	大局的にはほぼ水平な成層な構造ということを含めて補足をしております。
0:14:46	29 ページ、こちら 3 号の断面になりますけれども、同様の内容を記載しております。
0:14:53	続きまして 32 ページをお願いいたします。
0:15:00	32 ページ解放基盤表面の設定になりますけれども、前回の資料においては、こちらの解放基盤表面の設定の根拠があまり明確に期待できてなかったというところで、今回明確に記載をしております。
0:15:15	上のところにGuideの定義を書いておりまして、火線①から③んについてそれぞれ根拠を記載をしております。
0:15:26	まず①延滞波速度 $V_s$ 700 メーター/s以上につきましては、炉心周辺ボーリングのPS検層結果等に基づき設定した速度層断面が次のページの 33 ページに覗きになりますけれども、それによりますと、敷地地盤の標高マイナス 10m 以深は、
0:15:43	$V_s$ 700 メーター/s以上となることが確認できるということ。
0:15:49	それから②、著しい風化を受けていないにつきましては、
0:15:53	敷地地盤の標高マイナス 10m 以深はローリングコア等から、著しい風化を受けていないことを確認しているということ。
0:16:00	それから③著しい高低差がなく、ほぼ水平で相当な広がりをもって想定される基盤の表面につきましては、
0:16:08	速度層区分によると、敷地全体では大局的に見てほぼ水平な構造と考えられると。
0:16:14	いうことを期待しまして、以上より、標高マイナス 10 メートルの位置に解放基盤表面を設定したということを明確に今回記載をしております。
0:16:25	続いて 44 ページをお願いいたします。



0:16:34	44 ページ、こちらは敷地地盤の地震観測記録による検討のうち、到来方向別に影響はVスペクトル比を比較したという検討になります。
0:16:46	こちらの検討において、観測記録がない領域ですね、北側と西側になりますが、その方向で特異な構造となっていないかについては明確に記載はできていなかったということで、赤字なお書き以降を今回追記をしております。
0:17:04	なお検討対象地震がない方向については後述の傾斜構造を考慮した解析と二次元モデルを用いた検討になりますけれども、それによりまして特異な傾向がないことを確認しているということを記載しております。
0:17:20	続きで 45 ページ、次のページにつきましては、同じ内容や 3 号の検討になりますが、同じ内容を記載しております。
0:17:30	続きまして 91 ページをお願いいたします。
0:17:42	91 ページですけれども、
0:17:47	こちら、最終的に設定した地下構造モデルの妥当性確認として液化構造モデルの理論位相速度と微動アレイの観測位相速度を比較したのになります。
0:18:00	前回の資料においては、このページが補足説明資料に入っていた
0:18:05	ものですけれども、こちら本資料のほうに移動をしております。
0:18:10	要は変わっておりません。
0:18:12	次の 92 ページですけれども、92 ページには、地下構造モデル設定のまとめを記載しておりまして、ただいま妥当性確認の内容を赤字で追記をしております。
0:18:27	最後に 85 ページをお願いいたします。
0:18:33	85 ページですけれども、アキヤマ地下構造モデルの妥当性確認
0:18:40	ということで、避難も前回のヒアリングで説明した内容にはなるんですけれども、赤字で追記をしております。
0:18:47	2 項と 3 号の地下構造モデルの設定において、きちんと伝達関数と影響ばVスペクトル、
0:18:55	もうフィッティングさせて求めているということを改めてこちらに記載をしているというものでございます。
0:19:02	以上が前回 2 月 17 日のヒアリングからの変更点になります。
0:19:08	説明は以上です。
0:19:14	設置をクマガエで御説明ありがとうございました。
0:19:32	規制庁サグチですけれども、基準地震動の策定についてですけど。
0:19:39	前回、私の方からいろいろ確認させていただいて、
0:19:43	で、それについては、いろいろ追記とか、ああしていただいていることについては確認は、

0:19:52	できました。
0:19:53	で、
0:19:54	ちょっとだけ策さらにというか、確認だけなんですけれども、
0:20:00	補足のほうからも、
0:20:02	て聞いた。
0:20:05	地下構造モデルの妥当性のところで、
0:20:08	位相速度と比較をされているんですけど。
0:20:14	これって、
0:20:18	用いたモデルっていう、
0:20:21	そのまま持っている。
0:20:23	全部使ってやっていますかって言うのと、
0:20:28	多分これ、今 2Hzぐらいまでしか
0:20:33	出されていないと思うんですけど、もうちょっと高周波数側に行ったら、ちょっとこれが変わるのか。
0:20:41	ていうのを、
0:20:43	今、今モデル。
0:20:47	どっからどこまでを使ってるっていう言い方がいいのかどうかわかんないんですけど。
0:20:52	ちょっとそのあたりもう少し詳しく教えていただけますでしょうか。
0:21:06	ごめんなさい。
0:21:08	ちょっとわかりづらかったかもしれないんですがないのでちょっと補足をしますけれども、91 ページで出されている地下構造モデルというのは、
0:21:17	これ一番上っていうのは、解放基盤表面であって、
0:21:23	地表面じゃないと思うんですけど。
0:21:26	一方で微動アレイによって得られた観測の位相速度っていうのは地表で得られたこれ一緒位相速度のほうで、
0:21:34	ちょっと
0:21:36	何メートルか何十メートルかわかんないんですけど、ちょっと違うと思うんですけどそのあたりの処理をどうされているのかというのをちょっと教えて。
0:21:45	いただきたいのと、当然ながら、位相速度をやっていけば、
0:21:50	今
0:21:52	一番浅いところもそうですねSr速度 1520 なので。
0:21:56	これの大体 9 割ぐらい 1400 ぐらいかなのところで、
0:22:03	周波数の高い

0:22:05	こう高周波数側っていうのは大体そこそこに前金をしていくと思うんですけど、今見ると、2000 円ぐらいで終わっているんで、多分これ、
0:22:17	全部の理論。
0:22:20	位相速度を出してるんでなくて、あくまでも微動アレイにいいよって得られた位相速度の。
0:22:28	ある部分だけを取り出してこう示しているのかなと思ったんですけど、ちょっとその辺りの関係はわかればいいんですけども教えてください。
0:22:44	中国電力の井上です。
0:22:47	ちょっと現時点で今細かい検討のところは確認ができないんですけども、
0:22:53	まず理論位相速度についてはおそらく全部のモデルを
0:22:57	いや、
0:22:58	出るんです。
0:23:00	だって、
0:23:00	と思ってます。
0:23:02	家族の方については、ちょっとこちらの
0:23:08	測っているのは地表面なんですけれども非常に
0:23:12	起伏が激しい、
0:23:15	という地形的な特徴がございまして、
0:23:17	えっと地表の位置も山の上ですとか、日いろんな高低差があってですね、非常にやる時苦労はしたんですけども、
0:23:26	ちょっとそこは一体どこを表しているのかというのはちょっと難しいところは、
0:23:31	あるんですけども、
0:23:34	どうぞ。
0:23:36	はいえっとサグチさん、ちょっと細かいことは確認をしていただければと思うんですけど、ちょっとごめんなさい趣旨が伝わらなかったかもしれないんですけど、87 ページとかで、
0:23:46	基本的には、まず 3 号の地下構造モデルの物性値等を使って、
0:23:52	モデル化をすると産後っていうのは当然ながら、標高でいうと、トップっていうのは、プラス 46 メーターで、で一方で解放基盤っていうのがマイナス 10 メーターでこれ 50 メーターぐらい。
0:24:05	ちょっと上に乗っている状態なんですよね。で、微動アレイっていうのは当然地表面で、
0:24:12	られているものなので、この
0:24:16	解放基盤より上の 50 メーターをどういう形で扱ってるかっていうのがちょっと

0:24:22	知りたかったんですけど、そこそこわからないんだったらしょうがないんですけどまあいずれにしても、きちんとしたモデルを入れているんだらうなと思うのでというのはこれ、
0:24:34	微動アレイそのもの、
0:24:37	かな。
0:24:38	のところの構造等、まあそんなに変わらないのか。
0:24:44	ちょっとその前にも何かあったと思うんですけど。
0:24:50	若干
0:24:54	理論位相速度っていうのがどうやって出されたかっていうのがちょっとわからなかったので前の方とか参考資料とか見ている、
0:25:04	ちょっとなんかすごい数字数字というか、この線が違うかなっていう気もしたので、なくなん抱えているのかなと思ってちょっとお聞きしたんですけど、ちょっとそこは
0:25:14	ちょっといいです。さらにちょっと細かいことなんですけど、88 ページで、
0:25:21	減水乗数って、
0:25:26	3 号のモデルとか 2 号のモデルとか、それぞれあって、最終的にあの地震の評価に用いる地下構造モデルの減衰定数でまたこれ違うんですね、2 号と 3 号で 88 ページにありますように、
0:25:42	この大臣のボーリング孔におけるQ値の測定結果を考慮して、
0:25:48	安全側になるように設定したということなんですけど、下部数字を見るとですね、今の 3 号の青枠で囲ったところと、
0:26:00	実際の近く、地震動評価に用いる地下構造モデルって使うのが赤で、
0:26:06	この青と赤って多分倍半分とかかされているんじゃないかなと数字だけ見ると思うんですけど。
0:26:12	この安全側に
0:26:14	設定をするので、どういう考えで、多分倍半分という数字になったと思うんですけど、ちょっとその辺りはどういう考えで設定をしたのか教えていただけますでしょうか。
0:26:30	中国電力の大上です。
0:26:32	減衰定数の設定につきまして、先ほども言われたと思いますけど大深度ボーリングのQ値測定結果というのを黒のテントを黒の
0:26:43	実線で示しております。こちら最大振幅法とを振幅スペクトル法と両方のやり方で評価したものを示しております、
0:26:54	それで、具体的には第 6 層をとかになりますけれども、青色の線では作ろうよりも下着進めていっていないということもありまして、そういったものもすべて、

0:27:09	踏まえて安全側に設定できるように、
0:27:12	倍位倍半分すれば安全側に設定できるだろうということで、赤線を設定しているというものでございます。
0:27:20	以上です。
0:27:22	はい、サグチです。ありがとうございましたということは基本的には全部そういうわけじゃないんですけど、特にこのVI層がちょっとこの青線より黒線がちょっと下回ってる部分もあるんで、それらを踏まえてませ全部の総一律で。
0:27:38	安全側に評価をしますと、そういう考え方っていう今理解をしたんですけどそれでよろしいんでしょうか。
0:27:48	中国電力のイノウエですと御理解の通りでございます。以上です。
0:27:54	はい、ありがとうございました。あとちょっとすごく細かいことも含めて、できればなんていうんですかね、まだこれまとめ資料のごめんなさい、一歩手前で多分まとめ資料とか介護資料としては、
0:28:08	今日きょう強化なんかまた夕方ぐらい多分出していただくんですけども、もし
0:28:14	細かい記載のところでは幾つか行くといっておきますので修正できるんだったら、
0:28:22	修正をしていただきたいんですけど、107 ページ。
0:28:26	ところで、
0:28:31	うん。そっか。そうそう 107 ページで検討用地震の選定でまああのフローがあるんですけど、何かこれを見ちゃうと、とりあえず全部一緒の
0:28:42	うーん。
0:28:44	2 横並びにしてその中から幾つか選ぶんだけど、都市で最終的に宍道断層とF3 からF5。
0:28:53	なって、
0:28:54	それを
0:28:56	地震動評価をしますようなんですけども、
0:28:59	その選ぶ。
0:29:01	カテーテルんですかね。
0:29:03	多分これが 108 ページとか 109 ページ、110 ページとかにあるんですけど。
0:29:09	ちょっと宍道断層だけは、
0:29:11	これいわゆる耐専適用が
0:29:15	ということもあって、M Δ の関係から、多分抽出をしているんだと。
0:29:23	いうこれまでも理解してましたけど、
0:29:26	そうすると、
0:29:28	なぜ宍道断層だけを

0:29:32	そう、そうなるのか 100 例えば 109 ページって 148 とか、いくつかはあるんだけれども、なぜこのM Δ図。
0:29:44	の関係のところは宍道断層だけを選定するのか。
0:29:49	一方で 110 はもう宍道断層以外はあっても、
0:29:54	書かれているんですけども。
0:29:57	あくまでも耐専適用外な延べ宍道断層についてはこのM Δ図で影響が大きいことを確認しているので、
0:30:07	検討用地震として選定をするのか。
0:30:12	単純にM Δ図の関係だけから、
0:30:16	敷地に大きな影響を及ぼすと考えられるもので宍道断層を選定するのかってちょっと
0:30:23	流れっていうんですかね。
0:30:26	がちょっとわかりづらいので、そのあたり、多分これ、宍道断層についても、耐専適用外なんでM Δ図で確認をして影響が大きいというのを確認したので選定をしますという
0:30:39	のかなと思ったんですけど、ちょっとその辺り、実際どういう経緯なのか、経緯というか、選定のプロセスですね、もうちょっと詳しく教えてもらっていいですか。
0:30:52	中国電力の井上です。
0:30:54	はい。おっしゃられる通りですね宍道断層につきましては体制の適用範囲外ということで、110 ページにお示しする検討ができないと。
0:31:04	ということでこの表、表には 1 表のですね、備考のところには一応書いてはいるんですけども、
0:31:10	ちょっとそこら辺が 109 ページだけを見ると、わかりにくいと。
0:31:15	思いますので、その辺りは修正したいと思います。以上です。
0:31:20	はい。
0:31:22	考え方というか選定のプロセスっていうのは一応理解をしましたので、ちょっとそこはもし直せるんだったらわかりやすいような形で示していただければと思いますんでちょっと引き続きなんですけど 127 ページで断層パラメーターのところ、
0:31:39	一番最後の破壊開始点なんですけど、これ基本震源モデルと不確かさの考慮と二つあって、なんていうんですかね、特に最近のサイトなんか特にそうなんですけどあまり破壊開始点自体を
0:31:55	不確かさケースっていうふうにしていないんじゃなくて基本的には、

0:32:01	破壊開始点っていうのは午前的なものなので、基本ケースであろうが、不確かさケースだろうが、すべてに、これは取り入れてやるというような方針なんですけど。ただ一方で、新生児も含めてですね。
0:32:16	一応
0:32:18	破壊開始点という不確かさというケースをとった上で、
0:32:24	当然、その他のものには、
0:32:28	お諮り返してるっていうのはすべて同じような形でパラメーターパラメータースタディって言ったらなんですけど。
0:32:36	ふりますよと。
0:32:38	ということだと思うんですけど、今の書き方だと。
0:32:44	破壊が敷地に向かうような位置に複数設定ん、確かにこれはそうなんですけど、そのあとがちょっとですね、わかりにくくて、結局、
0:32:53	やってることっていうのは、
0:32:55	基本震源モデル、
0:32:59	べ設定した破壊開始点に加えて、
0:33:03	さらに破壊が敷地に向かうような位置に複数設定しましたよという、
0:33:11	ことでよろしいですよ。つまり何が言いたいかって言うと、
0:33:16	不確かさケースっていうのは、
0:33:18	基本震源モデルで考えていた破壊開始点はやっていないというわけじゃなくて、それも当然含めてやっているという。
0:33:28	そういう理解でよろしいんですよ。
0:33:35	中国電力の井上です。
0:33:37	はい。そのような御理解の通りでございますので、先ほど言われたように基本的震源モデルで設定した破壊開始点に加えてというような趣旨の
0:33:49	ことをこちら加えたいというふうに考えます。以上です。
0:33:54	やはりサービス上がりましてやってることはわかりましたので。
0:33:59	すいません、本当にまた
0:34:02	細かい話になりますけど、133 ページで実際のパラメーターの数字が幾つかあるんですけど。
0:34:11	この中でちょっとわかりづらかったのが、
0:34:14	えーとですね。
0:34:17	S波速度と、
0:34:20	それから密度、
0:34:23	これって、
0:34:25	密度は一応、

0:34:28	分権というのか。
0:34:30	設定根拠のところにありますけど。
0:34:33	S波速度が地震基盤相当のS波速度ってあるんですけど。
0:34:39	これ何か例えば文系だったり、そう、そういう。
0:34:43	ものを
0:34:44	使っているのか。
0:34:46	いわゆる
0:34:48	前段で地下構造モデルを設定したんですけれども、その中の値を使っているのか、当然その中の値を使っていれば、調査によるものなのか、あと岩田関口 2002 とかっていうのもあったと思いますけど、そういうものを与えなのか。
0:35:06	実際ちょっとこの設定をどういう根拠でされているのかもうちちょっと詳しく教えてもらえますでしょうか。
0:35:18	中国電力の井上です。
0:35:21	こちらのS波速度Vs3576 につきましては、別途設定した地下構造モデルの辺りになります。
0:35:30	で、
0:35:31	学校等持ってる。
0:35:34	の中で、どのように設定しているかと申しますと、
0:35:49	すみません、73 ページをお願いいたします。
0:36:01	73 ページ、こちら、最初の説明のときにも御説明しましたが、
0:36:05	一番深いところですね、3575 という値こちらは微動アレイに基づく結果になっております。
0:36:14	以上です。
0:36:18	はい、佐口ですわかりましたじゃあ微動アレイなりっていう、要は調査結果からってことですよ。もう一つお聞きしたかったのは、S波速度っていうのが、地震基盤相当というのがちょっとよくわからないんですよ、地震発生層とかっていうんだったらまあまだわか分かるんですけど。
0:36:36	なぜ地震。
0:36:38	基盤相当っていうのが、
0:36:40	という、これは定期定義というか、
0:36:45	どこの速度っていうだけの話なんですけど、ちょっとそこ地震基盤相当とされた理由を教えてくださいませんか。
0:37:03	中国電力の一部です。
0:37:06	基本的には発生層の上端深さと同じというふうに考えておましてそれが深さ2km程度のところ、



0:37:15	今設定をしております。このVs3570 っていうのも地下構造モデルにおいて、
0:37:21	そうです。
0:37:25	2004 の深さppmマイナス 2040 のところで設定している辺りになりますので、
0:37:31	そういった意味で、このような期待しております。
0:37:35	以上です。
0:37:38	はい、サグチです。ということは、結局は、地震発生層の誤設置っていうか、そ うで考えればいいってことでいいんですよね。
0:37:48	よく電力の井上です。基本的にはそのような考え方になっております。以上で す。
0:37:55	はい、ありがとうございます。あとちょっとさ、最後、ごめんなさい。
0:38:01	ちょっとこれ特定せずの話になるんですけど、167 ページで、
0:38:05	これは 2008 年岩手三内陸ちゅう地震で
0:38:12	その震源域の周辺とあと敷地の周辺、
0:38:16	比較をされていて、こうこういう理由で特徴が違うからってということで、収 集待機記録も収集対象該当しますということなんですけど。
0:38:28	この項目のところで 1234 五つあると思うんですけど、何か上二つっていうの は、そのあととか補足とか 2 合資料があると思うんですけど、下三つ。
0:38:41	このひずみ集中体とか地震地帯構造区分日本列島変動タイプとかっていうの が、
0:38:49	多分、補足含めて、株式資料がないないんじゃないかなと思っていて、ただこ れはあくまでも特定せず策定する地震動をの会合のときの資料には多分ある と思うんですけど。
0:39:04	このまとめ資料、
0:39:06	には、まずないということでよろしいかと。
0:39:11	いうところと、なぜないのかあまり根拠として強くないというのがあんまり使わ ないからなのかっていうところをちょっと教えてください。
0:39:24	中国電力の日比です。
0:39:27	YKTとこちらの 167 ページの上から二つの項目についてですね、こちらは特 定せずの審査会合のときも少しコメントとしてあったんですが、根拠としてはこ の上の二つが重要だろうと下の三つについては補足的なもの。
0:39:44	だって、ろうと。そういった内容のコメントをいただきまして、
0:39:48	そういう意味で、我々としてもその上の二つについて、きちんと詳細の補足 説明資料をつけているというものでどちらかという下三つは参考というふう に考えております。以上です。

0:40:03	はいサグチです。今お考え方は聞きましたので確認ができましたんですけど、今、今の 567 の表だと思うこと全部が並列というのか。
0:40:14	多分地震発生層のところも何かちゃんと根拠としたものと参考として、考慮するものと変わっては分けられていたと思うんですけど、そういった軽重がはっきりしてないかなと思うのでちょっと今お聞きをしたんですけど。
0:40:30	そこは考え方についてわかりました。
0:40:34	後 168 ページ目以降のこの鳥取県西武地震ですけど。
0:40:40	これ、
0:40:41	ごめんなさい。やっぱり参考治療参考資料は補足か補足のほう見えても、まずどうという
0:40:49	地震記録があって、いわゆるこの鳥取県西武地震で得られた観測記録がどれぐらいあってどういうどういう地点であって、
0:41:02	それから、幾つか
0:41:07	例えば 171 ページとかにあるような記録の収集、
0:41:14	これ
0:41:15	これはMw6.5 未満なんですけど、の何か条件がいろいろあって、それでなんか、最終的にこう残ってくるのが 168 ページの
0:41:29	ような観測点。
0:41:32	だと思うんですけど 168 ページとか 169 ページの
0:41:36	一番最初にどういう観測点があって、どういう観測記録が、
0:41:43	幾つぐらい取られているというのが、
0:41:46	補足とかにもなんか
0:41:49	他んじゃないかなと思って、これも特定せずの
0:41:53	会合のときにはちゃんとそういう資料があったんですけど。
0:41:57	歳出最初もう基礎的情報としてそういうのは入れるれるんだったらちょっと入れていただきたいんですけど。
0:42:08	中国電力の井上です。承知いたしました。
0:42:13	観測点の情報ですとかそういった情報については、資料のほうに、
0:42:18	入れて修正をしたいと思います。以上です。
0:42:23	はい、佐口です。
0:42:25	ありがとうございました。とりあえず、私、
0:42:29	まとめ資料については、
0:42:31	以上です。他にほかの分野でまとめ資料でまたちょっとコメントあればそれを先にさせていただいて、時間があればちょっとこの後、参考資料のほうのについてもちょっと確認をさせていただきたいので、

0:42:45	ちょっとさせていただきたいんですけど単ちょっとこれで実施指針の基準地震動についての確認は私からのコメントは以上です。
0:45:10	規制庁ナイトウですけれども、ちょっと文言同意の確認で 44 ページのところ で、赤字のところ、なおのところ、検討対象地震がない方、
0:45:23	と言ってんだけど。
0:45:25	これを検討対象地震がないんですか。辻市そもそもの自信がないんですか。
0:45:39	中国電力の井上です。
0:45:42	こちらについては、検討対象地震としてはマグニチュード 5 以上、
0:45:48	という条件を設定して検討しておりますので、そういったものがないという趣旨 でございます。
0:45:54	以上です。
0:45:59	規制庁の常識だから 5 未満であれば 4 とかはあってことですか。
0:46:09	中国電力の井上です。こちらは前回のヒアリングでもを少し御説明したんです けれども、私は 4 とかでもんない。
0:46:18	はずで、もっと小さい本当に微小地震と言われるようなものが少しあったりする んですが、こちらからこちらの検討に使えるような大きい地震はないと。
0:46:29	いうことでございます。以上です。
0:48:08	規制庁の伊藤です。あと細かい点なんだけど、24 ページの
0:48:13	下側の図面続くのやつを
0:48:17	拡大してるんだけども時価読めないのもうちょっと工夫できません。
0:48:26	中国電力の井上です。承知いたしました。明瞭にわかるように増修正いたしま す。以上です。
0:48:47	すいません中国電力のイノウエですけれどもよろしいでしょうか。
0:48:53	規制庁クマガエです。どうぞお願いします。
0:48:56	先ほどの 24 ページなんですけれども、具体的にどの文字が読めないとか、
0:49:04	であればおっしゃっていただければわかるように修正いたしますけれども、い かがでしょうか。
0:49:14	規制庁においてですけど、これ西多摩ノズル見れば、断面図見ればつかりに 文字がみんなに従事なって、
0:49:23	るような形にもなっているんで、
0:49:27	拡大した影響だと思うんですけども、ちょっとそこは、
0:49:31	工夫してもらえれば、
0:49:34	中国電力の井上です。承知いたしました。以上です。
0:50:00	中国電力アビルです。内藤さんすいません、上の拡大した図のボーリングのと ころの数値とかはよろしいですよ、ここら辺、ちょっとなかなか

0:50:11	はっきりさせようと思って、難しいんですけども下の 2 陣でるところは何とかしたいと思っておりますけども、
0:50:17	以上です。
0:50:59	規制庁の伊藤です。
0:51:03	このボーリング図を図から持ってきてるんですよね。
0:51:10	中国電力の井上です。このボーリングの図につきましてはまた別の文献のものを引っ張ってきて、
0:51:17	おります。以上です。
0:51:34	都合んとしようかな。で、でもこれってさどこ、どの文献から引っ張ったかって書いてあるんだっけ。
0:51:51	中国電力の井上です。
0:51:53	とちょっと
0:51:55	当時の資料には書いていたんですけどもちょっと一つにまとめたりしててそこら辺が、
0:52:01	明確に書かれていないようなところもありますので、そこら辺はわかるように記載したいと思います。
0:52:07	以上です。
0:52:13	計装図ですこれ。
0:52:15	中国電力がやったボーリングではない。
0:52:18	ですよ。
0:52:20	文献から引っ張って、
0:52:22	中国電力のイノウエイノウエです。はいその通り文献から引っ張ってきたものでございます。以上です。
0:52:38	規制庁のですけども、そうするとね、深層ボーリング調査結果で割って書いてあるんだけど、これ文献ではない。
0:52:52	中国電力の井上です。
0:52:54	あとは文献ん文献の
0:52:57	深層ボーリング調査結果ということになります。以上です。
0:53:04	これ言葉の記載の適正化なんだけど、であれば、文献で示されているしそボーリング調査結果においてはですね。
0:53:16	中国電力の井上です。その通りでございますので、記載を適正化したいと思います。以上です。
0:53:24	規制庁の成田です。そうですね、ここの利率アビルサグチだけど、このボーリングのコアをここで大きくしちゃうとはまり切らないから、どっかに後ろに、
0:53:35	入れるなり何か工夫はしてもらえませんか。

0:53:38	参考側に入れるとか、
0:53:46	中国電力の井上です。わかるように記載をしたいと思います。
0:53:51	以上です。
0:53:58	規制庁クマガエですと、地震動について、
0:54:02	一旦内容確認できましたので、次の分野について御説明をお願いいたします。
0:54:10	はい。中国のカシマです。それで先週のヒアリングを踏まえてですね、まず安定地盤の安定性の評価、こちらのほうの修正をしておりますので、こちらの変更箇所を中心にその地盤の安定性について御説明させていただきたいと思えますか。よろしいでしょうか。
0:54:28	規制庁クマガエですよろしく申し上げます。
0:54:33	中国電力のユリです。それでは右方の資料番号EP081 回 04 の本編資料とEP081 ほう 1 回 02 の補足説明資料をもちまして御説明させていただきます。
0:54:47	修正箇所を中心に御説明します。まず本編資料申し上げます。2 ページございます。
0:55:00	2 ページに概要ということで記載しておりますけれども、上からポツの四つ目でございます。
0:55:07	周辺地盤の変状による影響評価について記載しておりますけれども、影響がないとする根拠につきまして、評価対象施設は岩盤等で支持されていることからということで追記をさせていただきます。
0:55:19	5 ページをお願いします。
0:55:25	5 ページから 6 ページにつきましては申請時からの主な変更内容ということで一覧表にしたものでございますけれども、考え方の編成がわかるようにということで、全体的に修文を行ってございます。13 ページをお願いします。
0:55:45	13 ページは評価対象施設の一覧表ということで平面図で位置図を示したものでございますけれども、以前は耐震重要施設重大事故対処施設それぞれ分かれていたものを統合してございます。
0:55:58	また同じような定常のものが
0:56:02	いろんなところに記載されておりましたので、これら不要なものは削除してブラッシュアップしてございます。
0:56:09	18 ページをお願いします。
0:56:16	18 ページは地質の概要の最後のところにシームの鉛直断面図を押しAを示したものでございますけれども、地質の概要ということで一番痛いところがA断層はないけれどもシームがありまして、シーム滑りを想定した基礎地盤周辺斜面の安定性評価を実施するというものでございましたので、

0:56:34	こちらの箱書きに修文してございます。
0:56:37	また 19 ページのまとめのほうにもちょっとこちらの言いたいことを修文してございます。
0:56:42	25 ページをお願いします。
0:56:49	25 ページは液状化範囲の検討という資料でございますけども、上の箱書きのポツの二つ目のところに、以前は三次元浸透流解析を用いまして保守的に地下水を設定する旨記載しておりましたが、説明の流れを阻害するということで削除してございます。
0:57:07	26 ページをお願いします。
0:57:12	26 ページは、液状化範囲の検討結果ということで結果わかるような明確化ということで資料を追記をしてございます。こちらは立体的な机上化範囲のイメージということで、8.5m盤から 15mば液状化を考慮しますが、
0:57:29	高台にあります 44m盤 50メートル盤につきましては考慮しない旨をイメージでわかるようなものということについて追加をしてございます。
0:57:39	27 ページをお願いします。
0:57:46	こちら液状化範囲の検討結果に関連した修正でございますけども、投票真ん中にございます表の一番右側でございますが、一律参考ということで、液状化影響の考慮というところで記載をしてございます。
0:57:59	結局グループ分けをしたときに、グループB以外のグループCDにつきましては、液状化影響を考慮いたしますので、そういったものがわかるように追記をしてございます。
0:58:11	28 ページをお願いします。
0:58:17	28 ページの左側の図の右の図の上、上のところにですね箱で追加をしてございますけれども、液状化範囲の滑り面についてにつきましては以降の図の中で破線で示す旨を追加をしてございます。
0:58:32	220 ページをお願いします。
0:58:45	220 ページが傾斜の評価にたえ検査評価に対する構造成立性を示したものでございますけれども、一連のページの修文をしてございます。まず 220 ページの十八番につきましては、こちらへ地震動の動的解析結果と
0:59:02	地殻変動解析を足し合わせた表へ傾斜 156 分の 1 に対して、構造成立性が見通し構造成立性が見通しがあることを確認したという記載にとどめまして、その構造成立性の確認につきましては、次ページ参照ということで、221 ページに秒にしてございます。
0:59:21	221 ページをお願いします。
0:59:26	221 ページにつきましては柏崎に倣いまして、時傾斜に対する防波壁のへの影響の影響検討ということで、1 ページ新規追加してございます。

0:59:39	こちらにつきましては、地殻変動地震動を考慮した最大傾斜が 156 分の 1 となりまして、皆様を回っていることから、まず構造成立性の検討実施しましたということでポツの一つ目、記載してございます。
0:59:54	ポツの二つ目につきましては、改良地盤の物性に埋戻どう流用した全応力解析による 59 分の 1 の傾斜。
1:00:03	また、改良地盤の物性をPS検層等により設定した全応力解析による 158 分の 1 の傾斜ということで、本編に期待してる傾斜でございますけども、さらに同じ物性で有効応力解析による 446 分の 1 の傾斜。
1:00:20	それぞれに対する照査を行いまして、いずれにつきましても、構造成立性の見通しがあることを確認したということで、ポツも二つに記載しております。この具体的な内容につきましては補足説明時に資料の 13 章ということで飛ばすようにしてございます。
1:00:35	その概要のところを下側の図のところに四つ項目を記載してございますけれども、このような形で整理してございます。
1:00:45	最後レポポツの三つ目でございますけども、地殻変動及び地震動を考慮した本編資料に記載しております 156 分の 1 の傾斜につきましてはポツの二つ目に記載しております。59 分の 1158 分の 1。
1:01:00	446 分の 1 の経営者に包含されることから、これらの照査結果を踏まえまして、156 分の 1 に対しても構造成立性は確保される見通しがあることを確認したということで記載をしております。
1:01:14	この内容につきましては下側の図のところに表それぞれを続けておりますけども、その項目の中のA、Bの行に当たります。また※書きのほうで傾斜が包含される旨の記載を追加してございます。
1:01:30	最後詳細設計段階におきまして傾斜を考慮した場合においても、施設の機能が損なわれる恐れがないように設計するということで締めくくってございます。
1:01:40	220 ページに 222 ページをお願いします。
1:01:47	こちらは設置許可段階における基本設計方針でございますけども基本設計方針ということで、逆Tの改良地盤をPS検層等に基づく物性値で評価することにより、構造成立性の見通しを確認できました。
1:02:04	なので、この物性を管理目標値として位置づけるということで、丸の一つ目を整理してございます。
1:02:12	また丸の二つ目の詳細で設計段階ではということで管理目標値としての物性を確保されていることを確認していきますよということと、グラウンドアンカーによる変形抑制効果を踏まえた設計を実施するということで整理をしてございます。

1:02:27	これらを踏まえることで設置許可基準規則第3条第1項第2項に適合していると判断できるということで記載を修正してございます。
1:02:38	以上が本編でございまして補足をお願いいたします。10参照318ページでございまして。
1:03:02	はい。13章につきましては、区318ページのところで13.113.23.3ということで、A3部構成で見直してございます。13.1につきましては、新規追加したところでございまして、改良地盤の物性埋戻度とした。
1:03:20	全応力解析の最大傾斜59分の1の計算結果がわかる資料ということで追加をしてございます。
1:03:27	また13.23.3につきましては、前回資料でも13.1章13.2章としてあったものを
1:03:35	そのまま記載をしてございますが、タイトルのところですね、それぞれの位置付けがわかるようにということで、それぞれ修文をしてございます。
1:03:45	319ページお願いします。
1:03:54	319ページは13章のまとめというか全体の流れがわかるようなものということで追加したものでございます。
1:04:02	今まで経緯ということで資料としてお示していたものでございますが、それぞれの項目について、13.1章13.2章、13.3相のいずれに当たるかというのをわかるようにし整理してございます。
1:04:18	321ページをお願いします。
1:04:26	321ページにつきましては、59分の1の傾斜を算定した物性とその概要を示したものでございます。埋戻しの物性で全応力解析で計算した場合に、基礎底面における傾斜を算定したということで箱書きで記載してございます。
1:04:45	322ページ、お願いします。
1:04:49	こちらを用いたモデルということで再掲をしてございます。
1:04:53	323ページをお願いします。
1:04:58	こちらは59分の1の解析結果ということでこちらも再掲になりますけども、記載をしてございます。
1:05:06	し修正内容につきましては以上でございます。
1:05:15	規制庁クマガエです。ご説明ありがとうございました。
1:05:20	ちょっと1点確認ですけども
1:05:24	前回
1:05:25	駅西西端部の
1:05:28	方で対策を行ったとかつていう話をですね。



1:05:32	その整理していただくという整理していただくという話になったと思うんですけども、そこら辺についてはどのような記載になってるのか教えてください。
1:05:41	中国電力のユリです。すいません。最後説明を飛ばしていましたけども、補足説明資料の14章のほうにですね、もともと分冊になっていました防波壁選定衛生端部の地質の関係と安定解析の関係ということで、
1:05:58	主に地質に関するパートのところを整理してございますページで言うんですね。
1:06:03	補足説明資料のほうの351ページからになってございます。
1:06:13	こちらの西端部の地質について追加調査等も行いまして、最終的には歴する同年制度に対応する部分というものを撤去しますよということで整理してございます。358ページの方見ていただきますと、
1:06:33	最後防波壁防波壁の斜面の安定性評価のところですね、会合でコメントがついて残っているようなところにつきましても残すような形で右下のほうにスケッチありますけども、こちらを受けた資料ということでお示してございます。
1:06:49	最後結論のところは362ページでございますけども、
1:06:58	エレキ質粘性度が認められた範囲について岩盤まで撤去しますということで、平面図のほうに赤色のハッチングでお示してございますけども、こちらをすべて撤去して安定性評価に反映しますということで整理してございます。以上です。
1:07:16	規制庁クマガエです。ご説明ありがとうございました。
1:08:50	規制庁の伊藤ですけども、ね、これ浸水からの主な変更内容のところ、
1:09:00	シート部において追加調査を実施した。
1:09:04	となってるんだけど、実施して、
1:09:08	どっか地すべり土塊は撤去する。
1:09:13	というのが早い事故なんじゃないんでしょうか。
1:09:23	そうですね。
1:09:24	はい、中国電力のユリでございます。
1:09:27	反映事項につきましては最終評価ということで右側のほうに撤去して安定性評価を実施するように記載しておりますけども、確かに反映事項のところは調査して、そういう断定させ性評価まで繋がる内容だと思いますので、
1:09:43	真ん中のほうも修文をしたいと思います。以上です。
1:09:49	期中ナイトウですね。
1:09:52	これで一番最初についているというふうに行うのやつを、
1:09:59	ウェイ防波駅端部において地すべり面の存在確認するための調査を実施となってるんだけど、調査を実施してどっか委員については撤去することとした。

1:10:12	というのが、
1:10:17	申請時からの変更点
1:10:23	中国電力のユリです。おっしゃる通りでございますのでそのように修文したいと思います。以上です。
1:13:01	規制庁ナイトウですけれども、えっとね。
1:13:05	何だこれ。
1:13:09	はい。
1:13:11	081 回 04 も、
1:13:14	先週、
1:13:15	7 ページ。
1:13:17	表題が、これまでの審査会合からの変更の内容ってなってるんだけど。
1:13:25	これまでのっていうと、すべての会合になっちゃうんだけど。
1:13:30	これでここに書いてんのは、
1:13:32	841 回、
1:13:35	及び 955 回会合からの変更。
1:13:39	内容
1:13:40	つうことでいいんですよね。
1:13:46	中部電力のユリです。おっしゃる通りでございますのでちょっとタイトルが適正化いたします。以上です。規制庁ナイトウですけども、ちょっとそこは考え方、他の部分も整合も含めてよく整理してくださいというのは、
1:14:03	審査会合で他の分野もう昔概ね了としてるやつ。
1:14:07	だから、もう図面はいろいろ書いたりいろいろしているけれども、
1:14:13	でも、他のやつは、どういう形で、
1:14:21	中国電力課長です。ほかの資料も今同じような記載に同じようになってございます。以上です。他のと相当揖保敷地周辺のやつで言うと 7 ページのところ、515 回審査会合からの変更点となっていて、
1:14:37	これって、概ね料というようレター 515 回審査会合からの変更内容っていうそういう趣旨で書いてるんですよね。
1:14:45	ここもそういう趣旨で書いてんじゃない。
1:14:52	すいません中国電力のカシマです。おっしゃる通りで概ね了というような評価をいただいた会合以降のことでちょっと今地盤の安定性とか津波のほうはですね、そういった表現になっておりませんでしたので、
1:15:07	こちらの方、他の敷地周辺等と併せたような形ですね、記載のほう適正化を図らせていただきたいと思います。以上です。
1:16:34	町のマツスエです。どこだっけ 221 ページ。

1:16:42	よろしいですかね。
1:16:46	別途傾斜の
1:16:49	検討されてるんですけども、
1:16:54	数字が四つ出てきて、最終的には
1:17:00	123 ポツ目、156 分の 1 が採取最後の結論なんですけども。
1:17:08	そのあとの蒸気の傾斜かっこ 59 分の 1118 分の 1 及び 460-1 に包含される っていう表現になってるんですけども、
1:17:22	59、158 比 446 に包含される。
1:17:27	156 分の 1 っていうのがちょっとイメージとして、
1:17:31	わかりにくいんで、ちょっと
1:17:34	御説明いただけませんか。
1:17:40	中国電力のユリです。経営者としてですね、59 分の 1 よりも小さく、158 分の 1446 分の 1 よりも大きいということで、傾斜の数字としてない内そうされるとい うかそういうイメージで記載をさせていただきます。以上です。
1:18:00	そういう意味での包含っていうことは、理解できますが、
1:18:05	それで、
1:18:08	包含されることから、
1:18:12	構造成立性を確保されるという見通しが立つっていうのがちょっとよくわからな いんですが、
1:18:25	はい、中国電力のユリでございます。先ほどちょっと駆け足で御説明させてい ただいたんですけどもこちらの 59 分の 1158 分の 1、あと 446 分の 1 につ きましてはですね。
1:18:37	補足説明の 13 章のほうにそれぞれ構造成立性の照査結果ということでお示 しさせていただきます。
1:18:44	傾斜に対する照査結果ということで、
1:18:47	これらの照査結果でいずれも構造成立性の見通しが確認されていることを
1:18:55	確認しておりますのがポツの二目に記載している内容でございます、
1:19:00	これらを踏まえると、経営者の内数というか内装に入っている 156 分の 1 につ きましても、構造成立性が確保される見通しがあるだろうということで整理をし てございます。以上です。
1:19:19	そしたら一番厳しい 50 億分の 1 でもオッケーだから 156 は OK だよって いう方が読んでる方はすっといけるんですけども、
1:19:29	いかがですか。

1:19:39	はい、中国電力のユリです。おっしゃる通りなんですけども 59 分の 1 以外にも ですね、158 分のうち 446 分の 1 の調査結果も持って内そうされているって いうことが評価として重要なのかなと考えておまして、
1:19:54	こういう記載にさせていただきます。以上です。
1:20:10	どういうふうにちょっと明確にもう 1 点、記載をしていただければと思います 以上です。
1:20:27	はい、中国電力のユリです。もう少しちょっと記載がわかるように考えてみたい と思います。以上です。
1:22:38	規制庁ナイトウですけれども、今の 221 ページの話って、
1:22:43	起こさよくわかる蒸気の傾斜に包含されることから上記の傾斜に対する防波 堤度照査結果を踏まえて、
1:22:52	給食に対しても構成が確保される見通しであることを確認した。
1:22:56	都心だけど。
1:23:00	これ最大傾斜 150 分の 61 号、上記の傾斜に投与する防波堤主査引く踏まえ て構造成立性告訴見通しになることを確認した。
1:23:15	だと思っただけど、なんでここに蒸気の傾斜に包含されることからとかいろいろ 書いてあるんですか。
1:23:37	すみません部電力のユリです。繰り返しになるかもしれないんですけども、 我々の考えとしては、ではですね、156 分の 1 が経営者の 59 分後 158 分の 1446 分の 1 の内そうになっていることから、
1:23:53	156 分も 1 に対する構造成立性っていうのは照査自体を行ってないんですけ ども。
1:24:00	こういった 59 分の 1 だったりの調査結果を踏まえて構造成立性のみ確保 尽くされる見通しがあるっていうことを確認したのかなと考えておきますので、 そういう記載にさせていただきます。
1:24:14	ナイトウさんがおっしゃったこういう記載じゃないだろうかのところはすみせん ちょっと聞き取れなくてですね、もう一度御教授いただければと思います。以上 です。
1:24:24	規制庁の後ですけれども、よくわかんないのが包含されるから照査結果を踏 まえてなんて、
1:24:31	これちょっと、
1:24:32	今言ってることだと、表層結構踏まえると、
1:24:38	包含されることから構造成立性が確保される見通してること確認したっ ていうそういう考え方ですか。

1:24:48	中国電力のユリです。おっしゃってる趣旨理解いたしました。おっしゃる通りですので、そのようにちょっと修文をしたいと思います。以上です。
1:24:56	で包含の趣旨を
1:25:00	もうちょっと明確にして欲しいんです。
1:25:03	九州のところ、これ単なる傾斜が 59 分の 1 がより厳しいからっていうだけじゃなくて手法も含めてということなんですよ。
1:25:15	はい、中国電力のリエスははい、おっしゃる通りでございます。
1:25:20	同じEと結んでも物性値違うのか、59 分の 1 が全応力で食事発注等について、
1:25:28	445 有効応力解析ですよ。やっぱそれぞれの特徴解析の特徴も踏まえた上でこれの傾斜を
1:25:37	考えればいい 150 分の 61 円をPS検層結果に基づく
1:25:45	精緻による全応力解析の 156 分の 1。
1:25:49	ロケーションを
1:25:56	だから全応力、
1:26:02	埋戻そのまま-59-1、全応力PS検層結果に基づき 158。
1:26:09	D446 がいいとPS検層結果に基づく有効応力解析
1:26:16	で、構造成立性を
1:26:21	確認されていると判断できるのでってこと。
1:26:34	はい、中国電力のユリです。おっしゃる通りございまして 221 ページに書いてある①から④の 4 項目についてですね。
1:26:43	59 分の 1 と 158 分の 1 と 446 分の 1 のそれぞれの照査結果の傾向を確認しましても、
1:26:52	概ねその 156 分の 1 につきまして、内そうされるというような判断ですね、こういった記載をしておりますので、そういった内容がわかるように修正したいと考えております。以上です。
1:27:07	規制庁の伊藤ですけども、内装こととしてないそうでいいですか。ちょっとあまりしっくりこないんだけど、手法が違うん。
1:27:15	4465 使ってるわけ。
1:27:34	はい、中国電力のユリです。その内装にするかどうかというところをちょっと表現としてこちらも悩んでおりまして、そういった意味で包含ということで書き直した経緯がありますけども、ちょっともう一度どのような言葉が適切かということで考えてみたいと思います。以上です。
1:27:56	融度さつき言ったみたいに、それとの結果、
1:28:00	十分応力

1:28:01	全応力、
1:28:04	なるほど。
1:28:07	埋戻度物性 59 分の 1 を全応力という
1:28:16	もうPS検層もうに基づく
1:28:19	設置と。
1:28:23	有効応力の
1:28:25	PS検層に基づく解析業容 6。
1:28:30	所施工踏まえれば、これらの施設、これらの評価において、
1:28:36	基づき基づけば、150 円応力 156 条 6
1:28:41	156 分の 1。
1:28:43	について
1:28:45	構造成立性確保される見通しであることを確認した。
1:28:52	中国電力の清水です。今の最初の前段の話が二つ目のポツに書いておりますのでそこら辺の文書とあわせてですねこの三つ目の文章をですねちょっと修文したいと思います。ちょっと包含するとか経営者と内挿するっていう話はですねちょっと経営者の数字だけちょっと。
1:29:12	行われてですね、結果は、市北評価結果について言及がちょっとしにくかったので、ちょっとこういう書き方しておりますけど、ナイトウさんおっしゃられた通り結果をダイレクトに書けばですね、今のような表現できると思いますので、ちょっと修文したいと思っております。以上です。
1:31:38	規制庁クマガエです。
1:31:40	はい。ちょっとそこのところについてまた検討いただいて、
1:31:45	ければと思います。
1:31:47	続いてもらって次の分野の説明をお願いいたします。
1:31:52	記憶力のカシマです。それでは引き続きまして先週のヒアリングでコメントいただいております敷地内の関係ですね、こちらについて、資料の修正っていうのを中心に御説明させていただきたいと思います。
1:32:11	中国電力のユリです。それでは右肩の資料番号EP073 回 02 の本編資料で変更箇所を中心に御説明させていただきます。
1:32:23	A4 ページをお願いします。
1:32:31	こちら、市政治からの主な変更内容ということで一覧表にしておりますけども、先ほど地盤解析と同様にですね、あの考え方も編制をわかるようにということで全体的に修文を行ってございます。
1:32:44	また、前回ヒアリングでは家褶曲部とシームの活動性評価ということで大きく分けて見項目記載しておりましたが、その過褶曲部の記載のほうを上段に持

	って参りまして、将来活動する可能性のある断層等の有無ということで項目を拡張してございます。
1:33:02	その上で内容を検討して修正をしてございます。
1:33:07	13 ページをお願いします。
1:33:16	13 ページは記載の適正化でございますけども、箱書きのaポツの二つ目でございます。敷地の南方と記載しておりましたものを南部ということで修正してございます。同様の記載がまとめ市のところございましたやりましたのでそちらにつきましても修正をしてございます。
1:33:33	48 ページをお願いします。
1:33:43	48 ページが重要施設の設置位置に分布するシームの分布ということで一覧表にしていたものでございます。前回の資料では耐震重要施設と重大事故等対処施設ということでそれぞれ 1 ページ図を示しておりましたが、
1:33:58	こちらも 1 枚に統合できるということで統合して修正をしてございます。
1:34:04	またシーム分布につきましては、前回の資料では
1:34:08	施設の超過から深度 20 メートルぐらいまでの深部のところを拾っておりましたが、施設、施設の直下に出現するシームということで整理をし直してございます。
1:34:20	77 ページをお願いします。
1:34:28	77 ページは、こちら記載の適正化ということで、ちょっと赤字のままになっております申し訳ございませんけども、とび 23 シーム及びということで、23 シームにも切られている旨を追記してございます。
1:34:42	84 ページをお願いします。
1:34:51	こちらB23 シームの出現率がわかるような平面図ということで整理したものでございますけども、前回確認事項として 3 号炉調査以外にもないのかといったことがございましたので、3 号炉調査位以下以外で、B23 シームの層準が出ているものというものを
1:35:09	網羅的に確認してこちら修正してございます。
1:35:14	修正箇所につきましては以上になります。
1:35:23	規制庁のカイダです。
1:35:25	修正点確認しましたので改めてちょっと確認なんですけど 48 ページ、今回、
1:35:33	図を
1:35:36	背面は少し体裁変更されて一つにして、ちょっと表のところは設置地盤に出てくるものということで改めて
1:35:46	許可書き直されたということでそこありがとうございます。

1:35:52	それでちょっとまた改めて見てみますと、例えばその一番上の 2 号炉原子炉建物っていうのが、
1:36:03	45 ページにあって、
1:36:06	でですね、平面図、
1:36:08	B16 っていうのは追加になって、
1:36:12	なってるんですけど、例えばこれ B7-1 っていうのもあるように思うんですけど、これは
1:36:21	ぞ B7 なんですかね、それとも何かの、これはちょっと
1:36:26	さっきの表に上がってくるようなものでもないようなものなのか。
1:36:31	そこをもう今わかれば、確認したいんですけども、
1:36:42	はい、中国電力のユリでございます。45 ページのほうに B-7-1 ということで枝番つけてるものについてはですね、こちらの連続性のないような離れているボーリングのところで見つかったシームなんですけども。
1:36:58	こちらなしのシームっていうのをちょっと枝番つけて記載している次第で 48 ページの表のほうにはですね、あくまで連続性のあるシームということで記載すべきかなと考えておりますので、そういった整理にさせていただきます。以上です。
1:37:17	はい。じゃあ連続性のあるスチーム
1:37:22	ということで今 48 ページに
1:37:26	書いてあるということなんですけれども、
1:37:30	ちょっとその
1:37:32	またこれ今この話へと話がずれるかもしれないんですが、
1:37:39	シームっていうのを自体が全部のところで出てくるんじゃなくて
1:37:44	断続的に出てくると、例えば 44 ページの断面とかを見ても、
1:37:51	途切れ途切れに書いてあるものがほとんどなんですけど。
1:37:57	すでに審査の中で確認を話し合ったのかもしれないんですけど、この違いっていうのが何か。
1:38:07	何か枝番つきのものとそうじゃないものっていうのは、
1:38:11	どういうふうに分けられてるのか、ちょっと改めて確認したいんですけども、よろしいですか。
1:38:19	中国電力のユリです。ちょっと 12 ページを見ていただきたいんですけども、12 ページの
1:38:26	です。
1:38:31	すいません 12 ページよりも、84 ページのほうがいいかなと思いますけども、



1:38:38	内数調査の位置図ってところで点で示してあるところはボーリング調査の位置になっておりますけども、その3号の調査の中で、比較的調査密度も高くでですね本数も多いこういったボーリングの中で、
1:38:55	平面的な広がりを持ってですね、確認できるような断続的に分布する中でも比較的連続性の高いものということでB1から29日までと整理をさせていただいて、調査密度の高い3号の調査のときにですね。
1:39:14	連続性として確認できなかったものといったものをエラーバーシームというかなしの深部ということで、連続性の低いものということで整理をさせていただきます。
1:39:33	はい。
1:39:35	そういう整理をされてると。
1:39:38	ということで、例えば先ほど出てきた45ページの
1:39:43	図に城間ほかのところにしてもですね。
1:39:47	このSteamっていうのはもう凡例とかを見てもひとつ1種類書いてあって、
1:39:53	何か仕分けしたのかそうじゃないのかというのが、
1:39:58	ちょっとわからないわからずからはそこが少なくとも読み通り
1:40:03	できないので、
1:40:05	そこは
1:40:08	何かわかるような表記にさせていただいたほうが
1:40:13	誤解を招かないと思うんですけども、そこを
1:40:17	何か書き方っていうのは変えることは、
1:40:21	あと、
1:40:22	これは可能なんでしょうか。
1:40:28	中国電力のユリです。確かにちょっと紛らわしい記載になっておりますので、平面図断面図、新聞に関わるもの、ちょっと統一して修正をしたいと思います。以上です。
1:40:41	はい、わかりました。
1:40:43	で、改めてその48ページの表っていうのはそういったところも、
1:40:48	考慮した上での連続性のあるものっていうことで、
1:40:53	分かれてるのかというふうということだというふう
1:40:57	一応
1:40:59	確認しました。
1:41:03	それとですね。そのページの後に断面図が何ページかにわたって出てくるんですが、
1:41:12	どのページでもいいんですけど。
1:41:15	例えば54ページとかを見ていただくと。

1:41:19	シームに番号がついてるのは 27 っていうだけで、
1:41:24	他のやつはこう番号がついてないとどんな次のページとかも、
1:41:31	番号が書いてあったりなかったりするのがあるんですけども、
1:41:35	番号が入ってないものっていうのは、ただ単にこう広い図の一部を切り出したからこういうふうになっちゃってるのか。
1:41:44	これもまたなしっていうものなのか。
1:41:48	そこをいかがでしょうか。
1:41:54	はい、中国電力のユリです。こちらの 54 ページ以降で書いた 54 ページ辺りに書いてある断面図の中で名前が書いてないものですね。ただ単に
1:42:05	施設の直下に分布しないシームなので、連続性の高いシームであってもちょっと名前を記載しておりませんでしたので、こちらも含めてちょっとわかりやすいように修正をしたいと思います。以上です。
1:42:22	はい、規制庁のカイダです。わかりましたの 54 ページちょっとぱっとここ開いたらそこが出てきただけです。その前後のページ、
1:42:32	どれも同じかなと思いますので、
1:42:34	記載の適正化ということで、シームの番号がわかるように、
1:42:40	ちょっと記載をお願いします。
1:42:45	それとですね。
1:42:48	今回 84 ページの同追加されたということで、内容については
1:42:55	確認しましたけれども、これも
1:43:01	今まで出てきたはずっていうのは、
1:43:04	3 号のところの
1:43:06	多分に着色されていると。
1:43:09	この下の部分も含めて、
1:43:12	3 号の辺りだけじゃなくて以降、敷地全体に広く確認されている。
1:43:17	であるという BBB23 っていうのは確認されているという。
1:43:21	ことを示してあるかなと思うんですが、
1:43:25	B23 が今までの 3 号のやつっていうのは、
1:43:29	例えばこれまでの審査会合とかで、これ全部こうなんていうか示されてた。
1:43:37	ものなんでしょうかね。
1:43:39	今回追加されたものも含めて、前回までは 3 号までのやつはすべて掲示されて今回提示を追加されたものっていうのは、
1:43:51	今までこう
1:43:54	今の審査の中で示さなんかこう写真なり、
1:43:59	こうスケッチなり、或いは柱状図なりで、

1:44:05	ここにありますがっていうのがわかるようになっていうのは、
1:44:08	示されてきているのでしょうか。ちょっとその確認だけなんですけれども、
1:44:20	はい、中国電力のユリです。84 ページの
1:44:26	左側につきましてはですね、すべてのシームを御説明したわけではないですけども、要所につきましては、審査へとまたは現地調査の中で聞いていただいでですね。そういったところ、実際に物を見て御説明をさせていただきます。
1:44:43	また今回追加した防波壁の東端部のほうの絵とボーリングでございますけども、こちらもすべてではないですけども、現地調査の中で展示してですね、実際にここがB23 シームだよということで御説明をさせていただきます。以上です。
1:45:03	はい規制庁のカイダです。
1:45:06	例えばですね、次の補足資料の 113 とか、
1:45:11	110 万。
1:45:15	114 ページにかけて、B23 の
1:45:21	類似性っていうか、
1:45:23	層準大手行
1:45:25	示してあって、
1:45:28	これも 57 名の何ヶ所全部あるわけじゃないんですがこういったものは過去に示されている。
1:45:34	けどすべてガス
1:45:37	ちょっと出ているわけではないけれども、こういったものは、
1:45:40	示されているというそういうことで、
1:45:43	今そういうこと。
1:45:45	ご説明されてるんですけど、これ以外に、これ以外にも何かあったという、そういったことですかね。
1:45:54	中国電力のユリです。おっしゃる通りの 113 ページ 114 ページのような話と、あと現地調査でも実際にこう見ていただいていると。そういったことでございます。以上です。
1:46:08	はい、わかりましたじゃ
1:46:10	現地調査で、
1:46:11	見たということは何か資料か何かあったかなとあるAREVAなんかそのページ該当の
1:46:20	ページなり何なり、
1:46:23	に出てるっていうのがわかるように、
1:46:27	していただければと思うんですけども、
1:46:30	そのさっきの 84 ページのところですね。

1:46:34	それはし現地調査の資料、
1:46:37	とかその直後の審査会合でなんか出てたりは、
1:46:41	掲載されているのであればお願いしたいんですが。
1:46:45	それはいかがでしょうか。
1:46:54	中国電力の清水です。現地調査の後に集めそういった会合で現地調査でお示した資料についてはご提示していますので、例えばその時のですねボーリングNo.一覧表みたいなつけておりますので、
1:47:10	ちょっと柱状図とかコア写真つけるとボリュームがすごいことになっちゃうので、五つの市会合で、こういうボーリングをお示していますという一覧図的なものをですね報告の方につけさせていただければと思います。紐がつくようにですね。以上です。
1:47:26	わかりました。じゃあのそこは確認できるようによろしくお願いします。
1:47:31	少々お待ちください。
1:47:58	規制庁タニです。ちょっと確認しておきたいのが48ページでシームって項番号、各施設に対して個数えてるじゃないですか。これって、45ページとこ見たら、
1:48:14	これシームは相当層準を示すっていうような書き方されて、
1:48:18	48ページのほうは、
1:48:21	実際にシームがあったものがここに書かれているんですそれでも相当層準で書かれているのかちょっと確認させてください。
1:48:35	はい、中国電力のユリです。48ページに記載のものもですね、相当層準ということで新も保守的にだめだ中で引っ張ってる部分もございますので、そういった整理にさせていただきます。以上です。
1:48:52	48ページは相当層準ですね、えっとねちょっと資料見てて思ったのが、例えばこれ3号炉の断面はこういったこと相当層準書かれてなくてこれは実際に確認したっていうことなんですけど、例えば44ページは、
1:49:08	実際に確認しているところがシームとして入ってるんですか。
1:49:23	はい、中国電力のユリです。例えば44ページの3号の断面図において、このボーリング位置ではチームを確認しておりますので、
1:49:32	3号につきましては、都市ボーリングでシームを確認しているものということでお示しをさせていただきます。以上です。
1:49:40	送りました。続いて、じゃあ49ページに書いてある断面図を、これは特に相当層準ということはないんですけど、49ページを
1:49:50	どうなんです。

1:49:56	はい、中国電力のユリです。49 ページにつきましては相当相似でございますので、ちょっとそういったところは記載が抜けてるもの適正化したいと思います。以上です。
1:50:09	はい、そうですねこれ何か地盤の
1:50:12	時にはなんか相当層準っていう言葉なんか。
1:50:16	途中で切れたような気がしてっていう。
1:50:19	その辺ちょっと使い、使いわけをどうしてるのかわかるようにですね、図面のほうは、最終的にはわかるようにしていただきたいので、よろしくお願いいたします。
1:50:33	はい、中部電力のユリです。承知いたしました。
1:52:37	成長クマガエですはい御説明確認ありがとうございました。
1:52:41	ただ、
1:52:42	続いて、
1:52:43	ちょっと、
1:52:44	規制庁ナイトウですけど
1:52:47	シーム相当層準との関係で、地盤安定はCVの
1:52:53	法人にはシームがあるものとして評価しているでいいんだよね。
1:53:01	はい、中部電力のユリです。おっしゃる通りで相当層潤も含めて保守的に解析上、また簡便法上ではモデル化を行った上で安定性評価を行っております。以上です。それって地盤安定の通り、なんか書いてあったっけ。
1:53:20	中国電力ユリです。考え方については記載はしてはないかと思えますけど例えば解析モデル等ですね、そういったフックものも含めて、とシームをモデル化してますよということでモデルにお示しはしております。
1:53:36	以上です。規制庁にとってモデルに示してあるんだけど、だからそれはモデルに示しているのがすべてシームがあるということではなくって、
1:53:46	相当層準が存在してる時にはシームがあるものとしてやっています。
1:53:51	っていう考え方でやってるってことでいいんですよ。
1:54:08	中国電力のユリです。断面図に書いてあるシーム相当層準につきましてはですね、青色で線を引っ張ってるものにつきましてはすべてモデルに記載しておりますので、今の解析モデルを示しているところだったりとかですけど例えば※書き等でそういったものを記載するとちょっと考えたいと思います。以上です。
1:56:59	規制庁クマガエですけども、
1:57:02	またそのそのら辺の話も確認できましたと思う。
1:57:12	ほかまで

1:57:14	説明したができてないところとかっていうのはまだあるんですけどこの分野ができてないんです。
1:57:22	中国電力のカシマです。まだ御説明ができていないのか、津波と火山あと陸域ですね。
1:57:30	こちらは本日ヒアリング資料として御準備させていただいております。
1:57:36	けど、御説明ができておりません。
1:57:39	以上です。
1:57:43	これ、
1:57:44	一緒だから書いてないといけません。
1:57:48	すいません中国電力カシマです。あと会計については、
1:57:52	日頭をつけてないんですけど、1回先週お出ししているんですけど、こちらの説明がまだ終わっていない状態です。申し訳ありませんでした。
1:58:04	規制庁クマガエですよねと。
1:58:07	状況を承知しました。まず今、
1:58:11	時間として10日過ぎてしまいましたので、
1:58:14	一旦ここで、
1:58:16	終了したいと思いますけども、
1:58:18	いかがでしょうか。
1:58:20	状況を踏まえてまた
1:58:23	整理させていただければと思いますけども、
1:58:31	つちゆ
1:58:34	規制庁クマガエです。はい。
1:58:37	一旦、
1:58:38	これですね、ヒアリング資料させていただいて、
1:58:43	またですね、ロジ的な話については別途御連絡させていただければと思います。
1:58:48	いかがでしょうか。
1:58:51	中国電力カシマです。承知いたしましたでは、昼からまた一時過ぎからの再開ということでよろしいでしょうか。
1:58:59	規制庁クマガエですね、そこら辺についてはまたですね、
1:59:04	別途、ロジ的に調整させていただければと思っております。
1:59:08	中国電力カシマです。承知いたしました。申し訳ありません。
1:59:12	それでは、
1:59:15	このヒアリングについて終了させていただきたいと思います。ありがとうございました。

1:59:20

ありがとうございました。